

本会では、平成24年度において中小企業組合の中核的支援機関として、組合への支援を通して中小企業の発展、充実・強化に積極果敢に取り組みます。

本号では、6月5日に開催される本会通常総会において正式決定となりますが、その中から平成24年度中央会重点事業の主な事業について事前にご紹介します。

1 首都圏攻略プロデュース事業 ～首都圏での市場開拓・販路拡大を支援～

商品自体には魅力があるものの、消費者に好まれるためのデザイン力や販路拡大のためのマーケティング力の不足により、商品の良さを十分にアピールしきれず、販路拡大に苦慮している企業が多いのが現状です。

本事業では、県内食品関連事業所の新商品や改良した既存商品を様々な角度から磨き上げ、首都圏での市場開拓・販路拡大を目指す「やる気と意欲」のある事業所に対し、マーケティング調査からパッケージデザインの変更、販売促進等の取り組みに対して支援します。

○公募開始予定・・・6月上旬(本会ホームページ等に掲載します)。



【平成23年度事業成果品】

山葡萄のご褒美ショコラ
(株式会社菓子舗榮太楼)



子持ハタハタの甘露煮
(株式会社鈴木水産)

2 高齢者対応ビジネス構築事業 ～業界組合によるビジネスモデルの構築を支援～

高齢化社会の急速な進行により“買い物弱者”が社会問題化し、高齢者が求める販売・サービスの拡充が社会的要請となっている中で、高齢化率が全国トップクラスの本県にとっては新たなビジネスモデル構築の契機と言えますが、具体化するための糸口を見い出せずにいます。

そこで、高齢者を対象とした新たなビジネスへの取り組みが想定される業界組合や行政機関、利用者である高齢者等にも参画を呼びかけ、高齢者にとっての買い物の利便性の向上や安全・安心な生活を守る観点から、業界組合における新たなビジネスモデルの具体的な仕組みづくりを行い、会員組合にとって有益な新規事業の構築を目指します。

○第1回懇談会・・・6月下旬開催予定

3 農商工連携実践スクール事業(新規事業) ～付加価値型産業を推進する人材を育成～

本県が有する豊富な農林水産資源に付加価値をつけて生産・販売していくことは、農林水産・商工業の発展及び競争力強化のために欠かせない重要課題です。しかし、開発される商品の多くは、売り手側の思惑が先行し、「誰に」、「どのように」売っていくのかというマーケティングの視点や消費者が魅力を感じるための適切な商品の磨き方、情報発信力が不足しがちです。

そこで、本事業では、農商工連携を意識した商品磨き等に関する実践的な研修を実施することで、受講者のスキルアップを図るとともに人材のネットワークを構築し、農商工連携を活用した地域産業の競争力強化につなげていきます。

○受講生募集開始予定・・・6月上旬(本会ホームページ等に掲載します)。

4 DC対応観光産業懇談会(新規事業) ～県内観光業界の振興・発展を支援～

本県への観光客数が大幅に減少している中で、平成25年秋にはデスティネーションキャンペーン(DC)、平成26年には国民文化祭といった大きなイベントが控えています。

そこで、秋田県内の観光関連組合を参集し、県内観光関連施策に関する要望等を集約して行政等に要望・提言を取り入れてもらい、行政と一体となった取り組みを推進していくことで、観光業界の振興・発展につなげていくための懇談会を開催します。

○第1回懇談会・・・6月下旬開催予定